



年 組 名前

道新 ワークシート

ネパール・ポカラの水道支援

市、JICA連携 給配水のノウハウ提供

覚書を手にする札幌市の木下淳嗣水道事業管理者（左）とネパール水道公社のイシュワー・プラサド総裁



札幌市は、国際協力機構（JICA）と連携し、ネパール・ポカラ市の水道事業の支援を始める。2025年1月までの約3年間、給配水の管理業務に関する技術協力を行う。オンライン研修や職員派遣などを通して水質検査や漏水対応のノウハウなどを伝え、安全な水を十分に提供できる体制づくりを目指す。

ポカラ市の水道事業を担

うネパール水道公社の職員が過去に札幌を視察した縁で実現した。ポカラ市は水の濁りや連続給水が難しいなどの課題があり、JICAがポカラ市に浄水場を無償で建設するのを機に札幌市が技術面を支援。札幌と公社の職員らは23年から3回ずつ現地を訪れ、視察や技術指導を行う。費用はJICAが負担する。

14日は市水道局や同公社



などの関係者をオンラインで結び、覚書を締結した。札幌市の木下淳嗣・水道事業管理者は「それぞれの都市が友好を深める契機として」、同公社のイシュワー・プラサド総裁は「給配水技術の向上に期待している」と述べた。

札幌市による水道技術の海外協力は、モンゴル・ウランバートル市に次ぎ2例目。ポカラ市への協力は昨年決まったが、新型コロナウイルスの影響で事業内容を見直し、実施することになった。

（阿部里子）

2022年3月15日（火）朝刊 札幌市内版 18ページ（記事は再編集しています）

①札幌市は、ネパール・ポカラ市に対して、どのような水道支援を行いますか。

②あなたの住む地域では、外国に対して、水道事業の他にどのような技術を提供できると思いますか。理由も書きましょう。